

推薦調書（実装部門）

表彰区分	市（指定都市・中核市・施行時特例市等を除く。）	都道府県	千葉
地方公共団体名	市原市		
取組名称	利用者と地域と行政をつなぐデジタルコミュニケーションの実現		
連携自治体、企業、団体等	アクセント株式会社		
デジタルを活用した取組の概要（デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野） 子育て
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】 市民と地域、行政をデジタルでつなぐ、ホームページを中核としたコミュニケーションツールを整備しました。 個々人の興味、関心といった属性に応じて、ホームページの更新情報をプッシュ型で届けるサービスのほか、学校と保護者、行政と町会の連絡、親子手帳をデジタル化したサービスの提供を開始しました。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】 本市が実施した市民意識調査では、2人中1人が必要な情報を入手できていない、4人中3人が市ホームページを利用しないとの結果でした。 どんなに良いサービスでも、その人にとって重要な情報でも、利用してもらえない、知ってもらえないものでは意味がありません。 このような状況に強い危機感を持ったのがきっかけです。</p> <p>【解決した課題の具体的内容】 日々、市は大量の情報を発信していますが、その中から自分が必要としている情報を探す、見つけるのは大変です。これが必要な情報を入手できていない原因だと考えました。 そこで、市の情報発信の中核を担うホームページを刷新する中で、利用者の方の興味、関心などといった、いわゆる属性情報を添えてID（ユーザ）登録いただくことで、利用者の方に必要な情報をプッシュ型で配信できる仕組み（デジタルコミュニケーション基盤：DCP）を整備しました。 また、市が提供する様々なサービスをこのDCPと連携させ、ひとつのIDでどのサービスも利用できるようにすることで、利便性の向上を図るとともに、ユーザの獲得を図りました。 ※1：ID登録がなくてもホームページはご利用いただけます ※2：利用者の方の同意により、はじめてサービス連携されます</p>		
デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）	DCP及び連携する各種サービスでは順調にID登録数が伸びており、令和4年5月末時点で31,000名の方に登録いただいております。 また、連携するサービスの利用状況は以下のとおりとなっています。 <ol style="list-style-type: none"> ① 学校コミュニティサービス（登録者数：18,000） <ul style="list-style-type: none"> ・学校と保護者間の欠席やクラスの連絡をデジタル化 ② 地域コミュニティサービス【試験運用中】（登録者数：600） <ul style="list-style-type: none"> ・市から町会への連絡、町会活動や町会内の連絡をデジタル化 ③ 電子親子手帳サービス（登録者数：1,000） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長記録や定期予防接種に係る予診票・接種記録をデジタル化 なお、学校コミュニティサービスの開始後、教育・子育てに関する興味関心が増加しており、子育て世代への情報発信力が強化できたと考えています。		

【興味関心の動向イメージ】

令和3年7月

区分	割合
防災・安全	17%
年金・税金	11%
急病・医療	11%
イベント・地域活動	10%

令和4年4月

区分	割合
防災・安全	15%
急病・医療	11%
教育	11%
子育て	10%

教育	6%
観光	6%
子育て	5%

このDCP及び連携サービスは、「いつも使い」するサービスをコンセプトとし、子どもの成長にあわせて利用ができるよう、電子親子手帳、保育所等との連絡サービス（予定）、学校コミュニティサービスを展開し、子育てに関して一貫したサービスが提供できるよう工夫しています。

地域コミュニティ活性化の視点としては、町会回覧の電子化など、町会向けのサービスを展開しています。

また、新しい取組として、ホームページに利用者が自由に投稿できるつぶやき機能となる「VOICE」を導入し、リアルタイムで「まちの声」を発信しています。行政の施策への率直な意見や要望も寄せられ、迅速なサービス改善等にも活かしています。

【利用者サービス設定画面】



【つぶやき機能「VOICE」】



なお、このDCPはいわゆる「都市OS」で、市原市に限定されることなく、連携サービスを含めて他団体でも利活用可能であり、全国の行政サービスの向上に資するものと考えています。

将来的には、団体間でのサービス連携や観光情報の連携など、自治体を跨いだ情報サービスの提供により、様々な団体がそれぞれの魅力でデジタルサービスを提供するといった全国的にオープンな取組として展開されることを期待しています。

本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点

以下のとおり、利用者にとって身近なサービスとの連携を予定しております。

今後の展望

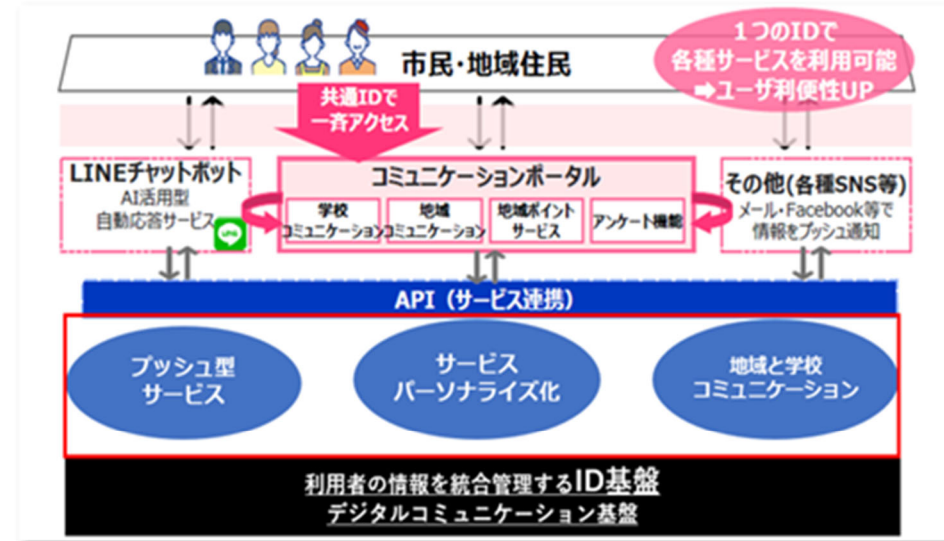
- 令和4年度 公共施設予約システムとの連携開始
- 公共図書館システムとの連携開始
- 学童保育コミュニティサービス開始
- 地域ポイントサービス開始
- 令和5年度 保育所・こども園コミュニティサービス開始

市原市の都市OSの概況

DXを支えるデジタルコミュニケーション基盤 (DCP)

DCPコンセプト

- One IDで**すべてのサービス**を利用できる
- One IDで**パーソナライズされた情報**を
プッシュ型で受け取れる
- **地域や学校とコミュニケーション**が取れる



あなたの興味・関心に応じた情報が優先的に届きます

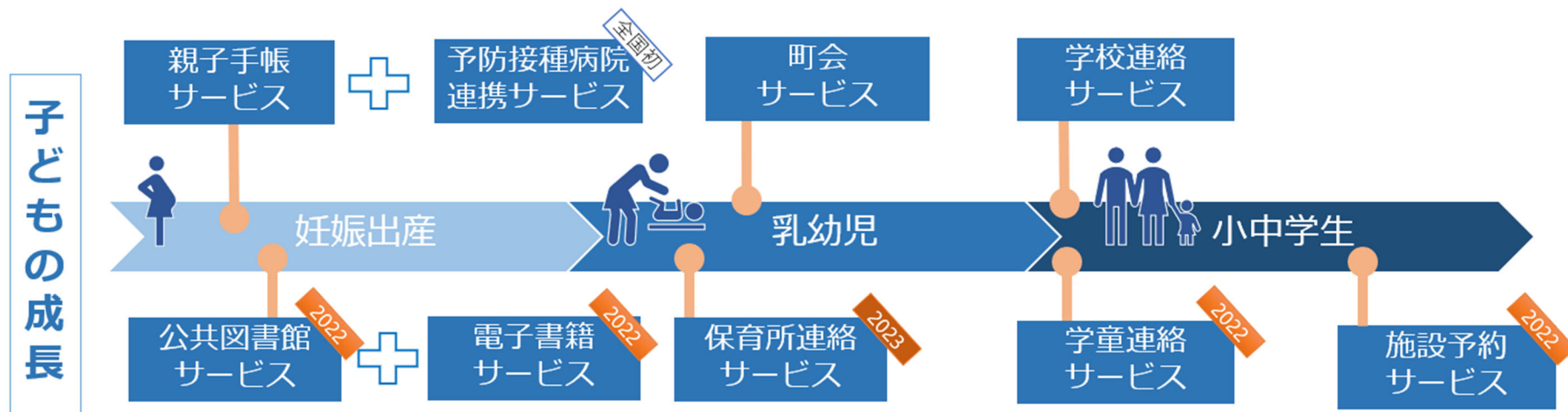


アカウント登録の際にチェックした興味・関心のある項目に応じて、ウェブサイトに情報が優先的に表示されるようになります。
また、アカウント登録時に設定いただいた興味・関心情報に基づき、市からのお知らせが直接配信（メールかLINEを選べます）されます。

（市原市ホームページより <https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=60c2e431e9e92d2d92e2a3f6>）

「いつも使い」のサービスコンセプト

【子どもの成長に合わせた「いつも使い」するサービス



子どもの成長に応じたサービスをラインナップ
DCPのOne IDでワンストップに提供

お子様が通う学校とつながる



サービス一覧



お子様が通う学校とつながる"学校コミュニティサービス"に登録しませんか？

学校からの連絡をウェブサイト上で確認でき、メール、LINEなどでも受け取れるほか、お子様の欠席や早退連絡をウェブサイトから行うことができます。

(市原市ホームページより <https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=60c2e431e9e92d2d92e2a3f6>)

日常使いできる「いちはら♡子育て応援アプリ」と連携

・予防接種書類をまとめて提出

・あなたに合わせた情報発信

いちはら♡子育て応援アプリの
カンタン便利な **2大新サービス!**

Part 1 デジタル予診票で予防接種をカンタンに!

もう紙の提出はいりません!

もう予診票に何度も記入させません!
もう接種スケジュールは迷わせません!

複数ワクチンの予診票へ一括入力!
さらに住所などは自動入力!

誕生日や接種状況から、いつ何を打てばいいかを自動表示!

これまで何枚も書いていた面倒な予診票が一括入力&自動入力でもカンタンに!

ワクチンごとに「接種時期」「接種間隔」が違うので自分でスケジュールを立てるのは大変...でもアプリを使えば全自動でとってもカンタン!

▶ ご利用方法は裏面を参照

Part 2 市のホームページと連携できる!

HP上の「子育て支援情報」や「緊急情報」など、あなたが「今」必要な情報を、アプリ上で受け取れるようになります。

市原市ホームページもこんなに便利!

- 興味関心にあった情報や緊急情報を優先的に表示!
- 市HPから学校と連絡が取れて、欠席・早退連絡に便利!
- ポイントがたまり市内の店舗で使えるクーポンと交換できる!

ご利用はコチラから

『子育て支援情報』や『緊急情報』など、あなたが“今”必要な情報を、アプリ上で受け取れるようになります。

忙しい時でも必要な情報がすぐわかります♪

予防接種のたびに求められる書類をアプリから一括提出! もう紙の提出は不要です。

兄弟がいる場合もアプリ1つで一緒に作れます♪

(市原市ホームページより) <https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=60c2e431e9e92d2d92e2a3f6>)